



医療・介護関係者の皆様へ

平素より三田市在宅医療・介護連携支援センターの運営にご協力・ご理解いただきありがとうございます。三田市在宅医療・介護連携支援センター通信 第19号を発行いたしましたのでご覧ください。

三田市入退院支援ルールと在宅医療介護連携に関するアンケート調査

三田市入退院調整ルールアンケートの調査をいたしました。
ご回答いただきました医療介護関係者の皆様ありがとうございました。
入退院支援ルール、アンケート結果は下記より当センターのホームページにてご確認ください。

三田市在宅医療・介護連携支援センターホームページ (QRコードはこちら→)

→<https://renkei-sanda.hyogo.jp>

ホームページ等の医療介護資源情報もこちらからご確認ください。

変更がある場合いつでも当センターへご連絡ください。



～つながろう・三田(トライアル)～

(1)概要

地域包括ケアシステムを支える在宅医療・介護連携の実践者である地域の医療介護関係者同士の情報連携のICT化を推進されている。三田市在宅医療介護連携推進会議にてICTツールによる関係者間の情報共有に慣れることも念頭に「情報共有ツールみなとわ」の試行運用を行い、今後の三田市の在宅医療介護連携におけるICT化の検討を行う。

(2)目的

- ・在宅医療介護福祉関係者のICT化の促進を図る。
- ・多職種連携を円滑するための土台作り。

(3)内容

使用ツール: 「みなとわ」(株式会社ウェルビーイング阪急阪神)

期間: 令和7年4月～令和7年10月(6か月予定)

費用: 試行運用中は無料

対象: 三田市及びその周辺の在宅医療介護関係事業所

(4)情報連携内容

- ・訪問診療医を中心に医療依存度の高い患者を選定し日常療養生活における支援の情報連携を図る。
- ・ケアマネジャーを中心に担当者会議など介護従事者中心の支援における情報連携を図る。
- ・入退院を中心とした支援の場面(内科疾患や骨折など)
- ・外来(がん相談対応事例など)を中心とした支援の場面

※上記のような場面を中心とした連携を基盤に内容を協議し情報共有を図る。

研修報告

多くの皆様にご参加いただきありがとうございました。

令和6年度第3回チーム有馬郡合同研修交流会(2024. 10. 13)
～地域包括ケアシステムの「基本のキ！」を学ぼう 救急編①～
<主な内容>

知ってるつもり?! ～DNAR～

講師：医療法人社団幸泉会 高田上谷病院 西川 育志 院長
救急隊の役割

講師：三田市消防本部消防署 当務第一救急係 消防司令補 福井 宗睦 氏



令和6年度第4回チーム有馬郡合同研修交流会(2024. 12. 13)
～VR体験を通して看取り、人生会議（ACP）について学ぼう～
<主な内容>

高齢者住まい講座(人生会議VR体験)

・救急医療における心肺蘇生・ある入居者・姪と息子・生きとし生けるもの



令和6年度第5回チーム有馬郡合同研修交流会(2025. 1. 21)
地域包括ケアシステムの「基本のキ！」を学ぼう 救急編②
<主な内容>

神戸市DNARプロトコルの現状および課題について

講師：神戸市健康局地域医療課 三浦 晃 氏

患者の急変や緊急入院等に向けた情報共有の在り方

訪問看護ネットワーク西宮 会長 青山 裕美 氏

道場あんしんすこやかセンター 岡本 ゆかり 氏

特別養護老人ホーム 八多の里 理事長 吉安 文太郎 氏



第6回さんだ在宅スキルアップ研修 『在宅における安全な経口摂取について学ぶ』(2025.2.15)
～美味しいね、その言葉と笑顔をお家の中に届ける～

講師：三田市民病院リハビリテーション科 言語聴覚士 堀家 章宏 氏

株式会社Life&eat 代表取締役 日本財団看護センター七福訪問看護ステーション 所長

摂食嚥下障害認定看護師 青木 千津子 氏

さんだリハビリテーション 管理栄養士 主任 福森 綾香 氏

